

2026 年夏期巡回講座レポート
巡回型ロボットプログラミング講座

6. 資料・データ編

データ収録範囲 2026 年 6 月 20 日から 9 月 13 日

目次

はじめに	1
第 1 章 この資料・データ編の目的と位置づけ	2
第 2 章 使用した最終データ	3
第 3 章 集計単位と数え方	4
第 4 章 最終実施状況	5
第 5 章 実施記録一覧	7
第 6 章 共通アンケートの構成と回答範囲	10
第 7 章 Scratch 部分の集計	11
第 8 章 ロボット部分の集計	12
第 9 章 缶バッジ部分の共通アンケート	13
第 10 章 施設独自アンケート	14
第 11 章 講師観察メモの記録範囲	16
第 12 章 各分冊とデータの関係	17
第 13 章 数値を読む時の注意事項	17
第 14 章 今後のデータ記録に向けた私案	18
第 15 章 まとめ	19
付記 最終版のデータ範囲	20

はじめに

この資料・データ編は、2026 年夏期巡回講座レポートの各分冊で使用した数値と原資料の関係を確認できるように整理したものです。

本文の分析や解釈を繰り返すことなく、どの記録を基に、どのような数え方で数値を示したかを残すことを目的とします。

収録したのは、2026 年 6 月 20 日から 9 月 13 日までの実施記録、共通アンケート、施設独自アンケート、講師観察メモの概要です。

参加者個人の回答を並べた一覧や、自由記述の全文は掲載していません。

数値は実施状況を確認するための資料です。会場、実施主体、講座内容、講座時間、募集方法等の条件が異なるため、数値だけで施設や地域を評価・順位づけするものではありません。

第 1 章 この資料・データ編の目的と位置づけ

1-1. 目的

この資料・データ編では、各分冊に記載した実施数、参加者数、アンケート件数等について、最終データとの対応を確認できる形で整理します。

また、同じ「件数」であっても、実施枠、参加者、同席者、補助者、アンケート回答、複数回答の延べ数では意味が異なります。その違いを明記し、数字が一人歩きしないようにします。

1-2. この資料・データ編で扱うもの

- 最終参加状況表に記録された 37 枠の実施記録
- 共通アンケート 162 件の集計結果
- ロボットプログラミング部分 144 件の集計結果
- 施設独自アンケート 23 件の集計結果
- 講師観察メモの記録範囲と扱い
- 各分冊と原資料の対応関係

1-3. この資料・データ編で扱わないもの

参加者を特定できる情報、回答 ID ごとの個票、自由記述の全文、講師が現場で撮影した写真は掲載しません。

自由記述は、アンケート分析編で必要な範囲を要約して扱っています。

第2章 使用した最終データ

2-1. 基準日

最終データの基準日は2026年9月13日です。同日に実施したガールスカウト・名古屋協議会の講座までを含みます。

2-2. 使用したファイル

ファイル名	主な内容
講座参加状況_2026_Summer.xlsx	実施日、会場、実施区分、講座区分、時間、定員、応募者数、参加者数、同席者数、補助者数
アンケート結果_分析用_2026.xlsx	共通アンケートの設問、回答データ、回答区分
アンケート結果_分析用_2026 - 春日井市・鷹来公民館.xlsx	鷹来公民館の施設独自アンケート11件
アンケート結果_分析用_2026 - 春日井市・知多公民館.xlsx	知多公民館の施設独自アンケート8件
アンケート結果_分析用_2026 - 土岐市・駄知公民館.xlsx	駄知公民館の施設独自アンケート4件
2026_夏の巡回講座_メモ.txt	講座ごとの講師観察、施設担当者・保護者等から伝えられた内容、講師の所感・次回案

2-3. 記録の種類

記録の種類	この資料・データ編での扱い
実施記録	日時、会場、人数等、講座の実施状況を記録したもの
アンケート	回答時点で参加者または保護者が記入した自己申告
講師観察メモ	講師が見聞きした行動・発言と、その後の所感や対応案を含む記録
追加情報	分析開始後に確認した事実や、団体・施設関係者から後日伝えられた内容

第3章 集計単位と数え方

3-1. 実施会場数

実施会場数は、最終参加状況表に記載された会場名を重複除外して数え、22 会場としました。同じ会場で複数回実施した場合も、会場数は 1 会場です。

3-2. 実施枠数

実施枠数は、最終参加状況表の 1 行を 1 枠として数え、37 枠としました。同じ日に同じ会場で Scratch 講座とロボット講座を別に実施した場合や、午前・午後に分けた場合は、それぞれ 1 枠です。

複数回講座は、実施日ごとに 1 枠として数えています。

3-3. 参加者、同席者、補助者

区分	数え方	延べ人数
参加者	講座・体験会に参加した子どもまたは大人	323 名
同席者	参加者に付き添い、会場内で同席した保護者等	102 名
補助者	施設担当者、リーダー、ボランティア等、運営を補助した人	68 名

参加者 323 名には、同席者 102 名と補助者 68 名を含めていません。

いずれも延べ人数です。同じ人が別日に参加した場合は、その都度 1 名として数えています。

3-4. 定員と応募者数

定員と応募者数は、最終参加状況表に記録された値です。

ただし、一般募集講座、既存団体内の講座、イベント型体験会では、募集方法や数え方が同一ではありません。

そのため、全枠の合計値を需要や充足率として評価することはしません。

3-5. アンケートの件数

アンケートの「回答件数」は回答票の数です。

複数回答式の設問では、一人が複数項目を選ぶため、選択数の合計が回答件数を超えます。

この資料・データ編では、この合計を「延べ数」と表記します。

第4章 最終実施状況

4-1. 全体

項目	最終値
実施期間	2026年6月20日～9月13日
実施会場数	22 会場
実施枠数	37 枠
参加者数	323 名
同席者数	102 名
補助者数	68 名

4-2. 通常型講座等とイベント型体験会

区分	実施枠	参加者	同席者	補助者
通常型講座等	35 枠	224 名	96 名	66 名
イベント型体験会	2 枠	99 名	6 名	2 名
合計	37 枠	323 名	102 名	68 名

イベント型体験会は、えなしこどもフェスタ 2026 の 41 名と、曾木町夏祭りの 58 名です。いずれも通常型講座より短い体験であるため、この資料・データ編では原則として通常型講座等と分けて扱っています。

4-3. 実施区分別

実施区分	実施枠	参加者	同席者	補助者
自治体主催講座	15 枠	86 名	48 名	19 名
ガールスカウト講座	8 枠	94 名	20 名	46 名
自主講座	4 枠	18 名	13 名	0 名
イベント	2 枠	99 名	6 名	2 名
マナビバ	8 枠	26 名	15 名	1 名
合計	37 枠	323 名	102 名	68 名

4-4. 講座区分別

講座区分	実施枠	参加者	同席者	補助者
ロボット	24 枠	149 名	66 名	18 名
Scratch	3 枠	18 名	14 名	2 名
Scratch＋ロボット	8 枠	94 名	20 名	46 名
缶バッジ	2 枠	62 名	2 名	2 名
合計	37 枠	323 名	102 名	68 名

「Scratch＋ロボット」は、最終参加状況表では「両方」と記録した枠です。缶バッジ 62 名のうち 58 名は、曾木町夏祭りの短時間体験です。

第5章 実施記録一覧

5-1. 2026年6月20日から9月13日までの37枠

次表は、最終参加状況表の記載を実施日順に掲載したものです。

「CC」はコミュニティセンターの略記です。

人数はすべて延べ人数です。

時間はすべて分です。

日付	実施場所	実施区分	講座区分	時間	定員	応募	参加	同席	補助
6/20	学習館	自治体主催講座	ロボット	90	16	16	15	2	2
6/21	笠置 CC	自治体主催講座	Scratch	90	8	6	6	5	0
6/21	笠置 CC	自治体主催講座	ロボット	90	8	8	8	8	0
6/28	表山 CC	ガールスカウト講座	両方	90	10	10	10	2	6
7/4	青海公民館	ガールスカウト講座	両方	120	7	7	7	0	0
7/15	気噴南公民館	自主講座	ロボット	60	8	8	8	7	0
7/25	鷹来公民館	自治体主催講座	ロボット	90	8	33	8	8	0
7/25	鷹来公民館	自治体主催講座	ロボット	90	8	5	4	1	4
7/26	恵那文化センター	イベント	ロボット	15	80	41	41	6	1
7/28	鶴里公民館	自治体主催講座	ロボット	90	8	5	5	0	1
7/30	瑞浪市総合文化センター	自治体主催講座	ロボット	180	8	4	4	0	2
7/31	山岡 CC	自治体主催講座	Scratch	120	8	5	4	3	1
7/31	上矢作 CC	自治体主催講座	ロボット	120	8	8	4	2	1

日付	実施場所	実施区分	講座区分	時間	定員	応募	参加	同席	補助
8/1	武並 CC	自治体主催講座	Scratch	120	8	9	8	6	1
8/1	武並 CC	自治体主催講座	ロボット	120	8	5	3	2	2
8/2	豊田市青少年 センター	ガールスカウト講座	両方	120	10	10	10	1	6
8/3	旭ヶ丘公民館	マナビバ	ロボット	80	8	4	4	3	0
8/4	市之倉公民館	マナビバ	ロボット	80	8	3	3	2	0
8/5	瑞浪市総合文 化センター	自治体主催講座	ロボット	180	8	3	2	0	3
8/5	気噴南公民館	自主講座	ロボット	60	8	3	3	3	0
8/8	名古屋東別院 会館	ガールスカウト講座	両方	120	8	7	7	0	0
8/9	愛西市文化セ ンター	ガールスカウト講座	両方	120	8	10	8	3	6
8/10	旭ヶ丘公民館	マナビバ	ロボット	80	8	4	2	1	0
8/11	市之倉公民館	マナビバ	ロボット	80	8	3	3	2	0
8/14	曾木公民館	イベント	缶バッジ	15	100	58	58	0	1
8/17	旭ヶ丘公民館	マナビバ	ロボット	80	8	4	4	1	1
8/18	市之倉公民館	マナビバ	ロボット	80	8	3	2	1	0
8/19	気噴南公民館	自主講座	ロボット	60	8	4	4	3	0
8/22	知多公民館	自治体主催講座	ロボット	90	8	41	8	8	0

日付	実施場所	実施区分	講座区分	時間	定員	応募	参加	同席	補助
8/23	瑞浪市総合文化センター	自治体主催講座	ロボット	180	8	3	3	1	1
8/24	旭ヶ丘公民館	マナビバ	ロボット	80	8	4	4	1	0
8/25	市之倉公民館	マナビバ	ロボット	80	8	3	4	4	0
8/29	駄知公民館	自治体主催講座	缶バッジ	90	8	4	4	2	1
8/30	田代小学校	ガールスカウト講座	両方	120	17	17	15	0	7
9/2	気噴南公民館	自主講座	ロボット	60	8	3	3	0	0
9/6	青海公民館	ガールスカウト講座	両方	90	16	12	12	2	6
9/13	イーブル名古屋	ガールスカウト講座	両方	120	30	25	25	12	15

注1：7月4日と8月8日はリーダー向け体験会です。

注2：実施主体によって、定員・応募者数の意味や確定時点が異なります。単純な比較には使用しません。

注3：会場名と実施区分は、最終参加状況表の表記を使用しています。

第6章 共通アンケートの構成と回答範囲

6-1. 共通アンケート全体

区分	回答件数
共通アンケート全体	162 件
Scratch 部分に回答があるもの	111 件
ロボット部分に回答があるもの	144 件
Scratch 単独講座	18 件
ロボット単独講座	51 件
Scratch＋ロボット講座	93 件

Scratch 部分 111 件は、Scratch 単独 18 件と Scratch＋ロボット 93 件です。

ロボット部分 144 件は、ロボット単独 51 件と Scratch＋ロボット 93 件です。

6-2. 参加区分

ロボット部分 144 件の参加区分は、子ども 131 件、大人 13 件です。
大人にはガールスカウトのリーダーを含みます。

6-3. 回答形式

設問	回答形式
面白さ	単一回答
できたこと・わかったこと	複数回答
少し難しかったこと	複数回答
続きをやってみたいか	単一回答
その他・自由記述	記述または「その他」の選択

6-4. 未回答と有効回答

設問ごとに未回答があるため、共通アンケート全体の件数と各設問の有効回答数は一致しません。割合を示す場合は、その設問の有効回答数を分母とします。

第7章 Scratch 部分の集計

7-1. 面白さ

回答	件数
とてもおもしろかった	75 件
おもしろかった	26 件
ふつう	8 件
あまりおもしろくなかった	0 件
有効回答	109 件

7-2. できたこと・わかったこと

回答	件数
ネコが動く時に少し止めると、動きが見える	69 件
ネコが端に当たった時にはね返る	85 件
ネコが端に当たった時に鳴く	82 件
ネコの鳴き声を変える	89 件
その他	9 件
選択延べ数	334 件

7-3. 少し難しかったこと

回答	件数
ネコが動く時に少し止めると、動きが見える	29 件
ネコが端に当たった時にはね返る	15 件
ネコが端に当たった時に鳴く	16 件
ネコの鳴き声を変える	28 件
その他	23 件
選択延べ数	111 件

7-4. 続きをやってみたいか

回答	件数
やってみたい	83 件

回答	件数
ちょっとやってみたい	19 件
わからない	7 件
やってみたいくない	2 件
有効回答	111 件

第 8 章 ロボット部分の集計

8-1. 面白さ

回答	件数	割合
とてもおもしろかった	110 件	78.0 %
おもしろかった	25 件	17.7 %
ふつう	6 件	4.3 %
あまりおもしろくなかった	0 件	0.0 %
有効回答	141 件	100.0 %

肯定回答は 135 件で、有効回答 141 件の 95.7%です。
3 件は未回答でした。

8-2. できたこと・わかったこと

回答	件数
数値を変更すると走り方が変わる	112 件
S 字走行	107 件
直進走行	102 件
音楽演奏	80 件
ハート表示	63 件
その他	14 件
リモコン制御	0 件
選択延べ数	478 件

8-3. 少し難しかったこと

回答	件数
S 字走行	92 件
数値を変更して走り方を変える	48 件
その他	18 件
直進走行	14 件
ハート表示	12 件
音楽演奏	6 件
リモコン制御	0 件
選択延べ数	190 件

8-4. 続きをやってみたいか

回答	件数	割合
やってみたい	102 件	72.9 %
ちょっとやってみたい	34 件	24.3 %
わからない	4 件	2.9 %
やってみたくない	0 件	0.0 %
有効回答	140 件	100.0 %

肯定回答は 136 件で、有効回答 140 件の 97.1%です。

4 件は未回答でした。

8-5. リモコン制御の 0 件

リモコン制御は、「できた・わかった」「少し難しかった」のいずれも 0 件でした。

一方、自由記述にはリモコン操作に触れた回答があります。

この 0 件だけから、未実施または未理解と判断することはできないため、アンケート分析編では定量的な評価の対象外としました。

第 9 章 缶バッジ部分の共通アンケート

9-1. 回答状況

共通アンケートには缶バッジ制作に関する設問もありますが、該当欄への入力はいずれも 1 項目のみでした。面白さや継続意向の有効回答はありません。

缶バッジ制作体験については、共通アンケートの数値から全体傾向を分析せず、駄知公民館の施設独自アンケートと講師観察メモを別に扱いました。

第 10 章 施設独自アンケート

10-1. 回答件数

施設	回答件数
春日井市・鷹来公民館	11 件
春日井市・知多公民館	8 件
土岐市・駄知公民館	4 件
合計	23 件

質問内容と選択肢が施設ごとに異なるため、23 件を合算して満足度等を算出していません。

10-2. 春日井市・鷹来公民館

設問	集計結果			
講座内容	満足 10	まあ満足 1	やや不満 0	不満 0
講師対応	満足 10	まあ満足 1	やや不満 0	不満 0
今後の受講意向	同様の講座があれば受講したい 11		受講する気はない 0	
情報を知った媒体	広報春日井 9	市ホームページ 1	口コミ 1	その他 1

「情報を知った媒体」は複数回答を含むため、選択数の合計が回答件数を超えます。

10-3. 春日井市・知多公民館

設問	集計結果			
参加動機	自己の向上 1	興味があった 4	その他 3	
講座内容	よい 8	難しい 0	普通 0	あまりよくない 0
講座方法	よい 8	改善が必要 0		
講師	よい 8	普通 0	よくない 0	
講座回数	よい 6	多い 2	少ない 0	
受講後の感想	よい 7	普通 1	難しい 0	よくない 0
学びの活用	家族に教える 7	友達に教える 1	自己啓発 1	
参加しやすい曜日	土曜日 7	日曜日 3	平日 0	
参加しやすい時間帯	午前 6	午後 1	特になし 1	
施設評価	よい 5	普通 1	よくない 0	未回答 2

参加動機、学びの活用、参加しやすい曜日は複数回答を含みます。

10-4. 土岐市・駄知公民館

設問	集計結果			
講座時間	長い 0	ちょうどよい 0	短い 4	
開催日・時間	ちょうどよい 4	参加しにくい 1		

設問	集計結果			
	初めて	2回目	2回以上	
公民館講座への参加経験	2	1	1	
講座内容	たのしかった 2	またやりたい 3	ふつう 0	つまらなかった 0

開催日・時間と講座内容は複数回答を含みます。駄知公民館の集計には、再アップロードされた最終ファイルを使用しています。

第 11 章 講師観察メモの記録範囲

11-1. 記録されている内容

- 講師が講座中に見た参加者の行動や聞いた発言
- 施設担当者、保護者、リーダー等から講師へ伝えられた内容
- 講師が講座後に記した所感や仮説
- 次の講座で変更したいこと、確認したいこと
- 機材、会場、進行上の問題や対応

11-2. 観察事実と解釈

講師観察メモには、観察した事実と講師の解釈が同じ箇所に記録されている場合があります。

他分冊へ反映する際には、「講師が見聞きしたこと」「関係者から伝えられたこと」「講師が考えたこと」「今後確認したいこと」に分けました。

11-3. 観察されなかったこと

講師がすべての参加者を継続して観察できたわけではありません。

メモに記録がないことは、その行動や出来事が講座中になかったことを意味しません。

11-4. 後から追加された情報

分析開始後に思い出した事実や、後日関係者から伝えられた内容は、当日の講師観察メモと同一の記録として扱わず、追加情報として区別しました。

第12章 各分冊とデータの関係

分冊	主に使用する資料	役割
0. 総括編	実施状況、アンケート集計、講師観察メモ	全体像と主要な結果を短く整理
1. 全体分析編	全資料	複数の資料を横断して分析
2. アンケート分析編	共通アンケート、施設独自アンケート	自己申告としての回答を分析
3. 現場観察・実践編	講師観察メモ、追加情報	現場で見聞きしたことと講師の解釈を分けて整理
4. 地域・実施主体別編	実施状況、アンケート、講師観察メモ	地域差ではなく実施条件の違いとして整理
5. ガールスカウト・既存団体編	該当枠の実施状況、アンケート、講師観察メモ、関係者の感想	既存団体での運営条件と観察を整理
6. 資料・データ編	最終データ一式	数値、数え方、原資料との対応を確認
7. 今後の実践ガイド	前各編で確認した事実・観察・私案	次の準備と運営に使える形に再整理

第13章 数値を読む時の注意事項

13-1. 参加者数だけで講座を評価しない

少人数の講座では、一人ずつの試行時間を長く取れた例があります。一方、多人数の講座では、機材の共有や役割分担が必要になりました。参加者数の多さと、講座中に起きたことは分けて確認します。

13-2. 応募者数を需要そのものとししない

応募者数は、告知方法、申込方法、対象年齢、曜日、時間帯、保護者同席の可否、施設との既存の関係等に影響されます。応募者数だけから地域の需要を判断することはできません。

13-3. 肯定回答だけで学習内容を判断しない

「面白かった」「続きをやってみたい」という回答は、回答時点での受け止め方を表します。何を理解したか、講座後も継続したか、どの支援が有効だったかを直接示すものではありません。

13-4. 複数回答の延べ数

「できたこと・わかったこと」「少し難しかったこと」等は複数回答です。項目別件数を合計しても回答者数にはなりません。

13-5. 0 件を未実施と同一視しない

選択肢が 0 件でも、自由記述や講師観察メモに関連する記録がある場合があります。0 件は「その選択肢が選ばれなかった」ことを示す範囲で扱います。

第 14 章 今後のデータ記録に向けた私案

14-1. 実施枠の定義を先に決める

複数回講座、午前・午後、Scratch とロボットの連続講座について、何を 1 枠と数えるかを年度開始時に決めておくと、途中集計と最終集計のずれを減らせると考えます。

14-2. 大人の関わり方を人数以外でも記録する

同席者や補助者の人数に加え、見守り、機材操作の補助、缶バッジ制作、会場設営等、担当した役割を簡潔に記録する方法が考えられます。

14-3. 変更前と変更後をつなぐ

講師が方法を変更した場合は、「問題が起きた」「変更した」「次の講座で再観察した」を別々に記録すると、改善を断定せずに経過を追いやすくなります。

14-4. アンケートの設問と実施内容に対応させる

実施しなかった課題や、選択肢にない課題がある場合は、そのことを集計時に確認できる記録欄を設ける方法が考えられます。

14-5. 自由記述の扱いを決める

自由記述は、個人が特定されないようにし、全文掲載、要約、項目別分類のどの方法で扱うかを、公開範囲に応じて決めておく必要があります。

第 15 章 まとめ

2026 年夏期巡回講座は、2026 年 6 月 20 日から 9 月 13 日までに 22 会場、37 枠を実施し、参加者は延べ 323 名でした。これとは別に、同席者 102 名、補助者 68 名を記録しています。

共通アンケートは 162 件、施設独自アンケートは 23 件です。共通アンケートでは、ロボット部分 144 件、Scratch 部分 111 件を確認しました。

これらの数値は、実施した範囲と回答された範囲を示すものです。数値だけで、参加者の理解、講座の効果、地域の需要、施設や実施主体の優劣を判断することはできません。

各分冊では、この資料・データ編に整理した数値に、講師観察メモ、施設・団体関係者から伝えられた内容、講師の解釈や私案を加えています。それぞれの性質を分けて読む必要があります。

付記 最終版のデータ範囲

この資料・データ編は、2026 年 9 月 13 日までに実施した夏期巡回講座の最終参加状況表、最終入力済みの共通アンケート、施設独自アンケート、講師観察メモを基に作成しました。

今後、入力誤りの訂正や記録の追加が確認された場合は、変更した箇所と理由を改版履歴に残します。

——— 以上 ———

改版履歴

ver.1	2026/09/22	初版
-------	------------	----

作成者・連絡先

作成者		こどものプログラミング教室 (有限会社エムバイビイ)
	講師	廣瀬 清司 (ひろせ せいじ)
連絡先	メール	hirose@mvb.jp
ホームページ	URL	https://www.mvb.jp/

※ご質問などの連絡はメールにてお願いします。